

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束排除のための指針を作成し、職員への指導を行っている。施錠しないケアを目標にしているが、入居者様の安全の為、止むを得ず施錠している事がある。入居者様のご希望に添って、職員同伴にて外出している。施錠しない管理方法については、解決策を見出せていない。	スタッフ全員が利用者の権利擁護、人権の尊重に対しての意識の向上が必要とされる。見守りや声掛けの強化、入居者様に寄り添ったケアを行い安心して生活できるように努める。	社外の研修に参加したり、他の事業所から情報収集を行ったり意見交換するなど、集めた情報や意見を参考にして資質の向上に努める。	6ヶ月
2	35	災害対策では年2回の消防訓練の他に、運営推進会議で協力をお願いしている。立地上、地域住民の協力を得る事が難しく、職員だけの誘導の限界を確認する必要がある。支援体制の整備や夜間を想定した避難訓練など、より実践的な取り組みが必要である。	地域の方々の参加や、協力を得られる体制を整える。近隣の皆様と日々コミュニケーションを図り、互いに協力し合える風土を築き上げる。	地域住民や運営推進委員へ、避難訓練実施の際には事前にお知らせをして、訓練内容を見てもらったり、参加してもらうように働きかける。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。